

競技上の注意

競技審判上の注意

〔全般的事項〕

1. この大会は、（公財）全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び平成25年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗では準々決勝、個人対抗では準決勝より付けるものとします。その他の試合においては原則として付けません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。放送には十分注意してください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次のとおりです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する場合は30分とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗（単・複）が連続する時は20分とします
7. 各試合（マッチ）のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中、一方のサイドのスコアが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。
（選手は20秒前にはコートに入ること）
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。
（選手は20秒前にはコートに入ること）
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人までです。主審の「（コート番号）20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。
9. 個人対抗単において、試合開始前の練習（3分間）をする相手は対戦相手とします。
その際のシャトルは、大会本部が用意します。
10. 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。
○容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れて下さい。
○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。
11. サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。（競技規則第16条）
○息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
（背面の文字は明確に判読できるもの）
15. 競技中の怪我や病気については、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うこととなります。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、団体戦では当該選手と監督、個人戦では当該選手に限ります。（監督は「IDカード」を必ずつけてください）
17. 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審（サービスジャッジ）とも握手をすることを心掛けてください。
18. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内での携帯電話の使用は、一切認めません。
19. 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止します。
20. その他は、監督会議における打ち合わせ事項に準じます。

【学校対抗に関する事項】

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. タイムテーブル上で試合開始時刻9：30（1段目）に出場するチームに限り、試合開始前に当該コートでの練習を認めます。その時間は、先番チームが8：20～8：30、後番チームが8：30～8：40の10分間とします。
3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審より直接手渡します。
4. オーダー用紙は、5枚複写で記入し、(1) (2) (3) (4)は提出し、(5)は自校で保存します。
5. オーダー用紙は、オーダー交換所に提出して下さい。なお、対戦校立合いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。
なお、競技1巡目は8：45とします。2巡目からのオーダー交換は、放送でお知らせします。
6. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無い時には「棄権」とします。
7. エントリーをしている者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、試合開始15分前あるいは選手集合の放送により選手集合所に集まり、係員の指示に従ってください。
8. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた者のみです。
9. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番チームからとします。
10. 試合開始前の練習は、マッチ（試合）ごとに、あいさつを交わした後、主審の指示で3分間行ってください。
11. マッチ（試合）は、1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
12. マッチ（試合）は、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。
13. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、主審の誘導により、プラカードに続いて整列し、勝利チームから退場をしてください。

【個人対抗に関する事項】

1. 選手の変更は、いかなる場合でも認められません。
2. タイムテーブル上で試合開始時刻9：00（1段目）および9：40（2段目）に出場する選手に限り、試合開始前に当該コートでの練習を認めます。その時間は、試合開始時刻9：00（1段目）が8：10～8：20、試合開始時刻9：40（2段目）が8：20～8：30の10分間とします。
3. 選手は、試合開始10分前あるいは選手集合の放送により、選手集合所に集まり、係員の指示に従ってください。
4. 入場は、主審の誘導により、組合せ番号の先番選手からとします。
5. 試合開始前の練習は、あいさつの後、主審の指示に従い、同時に3分間とします。（単の場合、対戦者同士で行ってください）
6. 勝敗決定後は、対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列し、勝者から退場して下さい。

【一般上の注意】

1. 各競技会場の開場は、8：00です。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用の上、「受付」を済ませてから入場して下さい。
3. 各競技上では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別を付けてください。
4. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。但し、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認めます。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去して下さい。
6. 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があるとレフェリーが判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
7. フラッシュ・ストロボを用いたの写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
8. ゴミは各自で責任を持って処理し、「可燃物ゴミ」「不燃物ゴミ」「ビン」「カン」「ペットボトル」の分別収集に協力をお願いします。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
9. 競技中の疾病、傷害については応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
10. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
11. 北九州市立総合体育館では、競技会場で2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援して下さい。北九州メディアドームでは、ロールバック席最前列から2列目までは共通の応援席としますので荷物等は置かないようにお願いします。また、通行に支障が生じる通路での応援も配慮をお願いします。